

## ほゆう

会報 123号

平成 16 年(2004) 9 月例会時発行  
〒277-0841

柏市あけぼの 2-9-20 B902

北総歩こう会事務局

TEL・FAX 04-7145-1620

平成 16 年 8 月例会・ミニナイトウォーク



## 手賀沼の夜景を担当して

例会リーダー 菊池 靖



毎年恒例のミニナイトウォークは、133 名の方に参加していただき、トラブルも無く順調に終える事が出来ました。

このウォークは 8 月第 1 土曜日の手賀沼花火に日を合わせ、距離 10 km・2 時間のウォーク、コースは見晴らしの良い場所として相野谷橋・富士見橋を通り、午後 7 時会場に近い場所で解散、後は自由行動としました。

当日は日中炎暑厳しく、雨の心配は全く無かったのですが、午後遅くから雲が出始め出発した頃には今にも振り出しそうな雲に覆われ、一時夕立を心配しました。そのうちに雲が移動し、空が明るくなりほっとしました。読売新聞のカメラマンが列の前後で写真を撮っていましたが新聞の記事になったのでしょうか？

今回は明るい内にという事で途中の休憩場所、柴崎台中央公園でダイアリーの押印・I V V・完歩証の配布を行いました。手賀沼遊歩道から花火会場が近付くにつれて周囲に見物客が多くなりました。あたりが薄暗くなり始めた頃、午後 7 時、手賀沼親水公園広場に到着、解散しました。直後から花火の打ち上げが始まりました。

今回のウォークにはいろいろご協力いただいた役員の方々に厚く御礼申し上げます。

(例会担当…後藤 章・市川 操・鈴木好次)

柴崎台中央公園では夕闇前に完歩証を配布

我孫子ふれあい広場での出発式・体操



北総歩こう会のモットー—明るく・楽しく・和やかに—略号…明楽和

## ふぁみりーウォーク

※ この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。  
「ふぁみりーウォーク」の集合時間は、毎回 **9:00** です。参加費(100円)  
集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

☆ 9月18日(土) 流山の古墳と利根運河  
約8km (担当・鈴木好次)  
集合：東武野田線江戸川台駅  
解散：東武野田線運河駅  
集合は通常の9:00に戻ります。ご注意

☆ 10月16日(土) 松戸の宿から戸定邸へ  
約7km (担当・鈴木好次)  
集合：出発：JR常磐線松戸駅  
解散：JR常磐線松戸駅



8/21・薬師堂で一息入れる参加者の皆さん

※問い合わせ先 04-7188-4292 (小林 直之) 19時~21時のみ

## ☆歩いて滝を見に行こう☆ ③最終回

### 全国ベスト1の滝・・・【安の滝】

柏市在住会員 社本真一

前回レポートした『神蛇滝』に魅せられた私は、密かにこの滝が全国ベスト1だと思っていました。そして、滝に関するいろいろな本やインターネット、DVDなどを調べてみたところ、JTBから出ている『日本滝めぐり』という本の表紙をこの滝が飾っていたり、『滝の細道』というホームページでベスト2にランクされていたりしているのを発見し喜んでいました。ところが、その両方の作者がそろってベスト1に推している滝があったのです。その滝が秋田県の阿仁町にある『安の滝』だったのでした。

これを知った私は、行くしかない、と、休暇をとり家内と二人飛行機に飛び乗りました。秋田空港でレンタカーを借り、途中のローソンでおにぎりとお茶を仕入れ約2時間、駐車場で車を止め歩き始めました。この道はそれ程アップダウンもなく、溪谷というよりは森の中という感じで快適に歩けました。歩き始めて40分、たどり着いた『安の滝』はまさに『癒しの滝』とでも言うのでしょうか、その優しい全貌を惜しげもなく開放的に見せてくれました。遠くからの遠望、滝つぼから見上げる滝、横の丘に登って正面に見る滝、いろんなビューポイントから様々な表情を見せてくれました。そのどれもが優しくて心がなごんでくるのです。この滝は水量が少ないほうが良いといわれています。岩肌を伝わって落ちてくる水の糸が絹糸のように繊細なのです。それが無数に束なってえもいわれぬ雰囲気をかもしだしてくれます。滝を見ながら岩の上でお弁当を広げ至福のひとつときを過ごしました。(3ページの下段につづく)



# 例 会 の 案 内 板

- ☆ 10月例会 ちば七廻道・水辺コース (例会リーダー 藤井順一)  
 主催/千葉県ウォーキング協会 主管/北総歩こう会  
 日時/10月11日(祝日) 9:00 コースは20kmまたは10kmの自由歩行  
 集合/JR常磐線我孫子駅南口徒歩10分の手賀沼公園(案内あり)  
 参加費/500円(会員・所属団体に関係なく全員)北総歩会員は月例参加票をお忘れなく  
 解散/同じ手賀沼公園 15:00ですべて締切り解散  
 ○ みどころ/人々が集い、小鳥が遊び、ポプラ並木を爽やかな風が吹き抜ける手賀沼へ。文人が愛した湖畔を巡りながら、秋の一日をゆっくり楽しく歩きましょう。
- ☆ 北総10月特別行事 つくばりんりんウォーク (行事リーダー 藤井順一)  
 日時/10月30日(土) コースは40kmまたは20kmの自由歩行  
 集合/JR常磐線土浦駅西口広場  
 40kmコース 7:20~8:00 随時スタート・ゴール閉鎖期限16:30まで  
 20kmコース 8:00~9:00 随時スタート・ゴール閉鎖期限14:00まで  
 参加費/500円(会員・所属団体に関係なく全員)北総歩会員は月例参加票をお忘れなく  
 解散/40km(ゴールJR水戸線岩瀬駅)・20km(ゴール路線バス筑波駅)  
 ○ みどころ/つくばりんりんロード(筑波自転車道)は、豊かな自然と歴史に恵まれた筑波山の麓に、商都土浦と石匠の町岩瀬とを結ぶ全長40.1kmにおよぶ大規模自転車道です。関東鉄道筑波線が廃線となり、その軌道跡を利用しています。虫掛・藤沢・筑波・真壁・雨引・岩瀬の駅跡には休憩所が設けられ、その他の駅跡にもプラットホームが残っており、往時を感じさせてくれます。「筑波山に向かって」「筑波山を背に」明るく、楽しく、和やかに歩いて下さい。
- ☆ 11月例会 都心の銀杏並木 16km (例会リーダー 河野千代子)  
 日時/11月21日(日) 9:00 団体歩行  
 集合/JR山手線・営団地下鉄千代田線とも原宿駅下車代々木公園  
 参加費/県内歩会々員無料・他県協会々員300円・一般参加500円  
 解散/JR上野駅 14:30頃 昼食予定:北の丸公園  
 ○ みどころ/出発の代々木公園より青山通りを経て、神宮外苑の黄金色の銀杏並木に心を癒されます。赤坂の豊川稲荷など上野公園までコースを楽しみましょう。

※例会行事問合せ先 04-7145-1620 中山 弘 19時~21時のみ

(2ページの下段より) ついでにと、駐車場に戻りさらに車で30分、そこから1時間歩いて『幸兵衛の滝』にも行ってみました。夕方になっていたこともあり、誰もいない暗い森の中をひたすら歩きましたが、ここは最後の登りがかなりきつく、やっとの思いでたどりつくと、斜めの大きな大きな岩の上を滑るように滝が流れていました。尾瀬の『平滑の滝』や日光の『湯滝』と同じような巨大な滑り台といった感じでしょうか。誰もいない森の中に突如現れた巨大な滝は圧巻でした。この滝は今年の冬、テレビで紅葉の滝に雪が降るといった場面が放映されたのでご覧になったかたもいらっしゃるでしょう。結局どちらがベスト1ということではなく、両方とも私のお気に入りの滝ということでしょうか。(終わり)

市川 操 の

## 四国お遍路だより

空海のみち全ウォークに参加して (6) 最終回

パートⅢ 3/30～4/15 伊豫から高野山へ

4/10(土)晴 今日の日歩は28,9km、宿は五色台にある坂出簡保の宿。簡保の宿の朝は遅い。7:45 出発、20分ほど車道を進み遍路道に入る。ここは途中まで昨日の白峰寺への道である。緩やかに下り気味の最高の遍路道。ぬかるみの手前で右への分岐を取る。やや登りが続く。視界は無いが綺麗な道である。82番根香寺は五色台の青峰にある。遍路道はつづら折りの車道を貫くように短く出来ている。この辺の山中では未だ花は見頃である。瀬戸



高野山でお礼参りを終って

内海が綺麗に見渡せる。山を下る途中の台地では松、五葉松などの盆栽造りが盛んである。2～3代かけて丹精込めて造られたと思われる立派な作品が沢山ある。

街に降りて昼食、「古奈や」でぶっかけうどんに野菜の天ぷらをのせて食べた。最高の味だ。家内に食べさせてやりたいと思ったくらい。栗林公園の前を素通りして今日の宿は郊外にある厚生年金会館、3回目のシングル宿である。

4/11(日)晴 84番屋島寺は麓までは団体で、登りは30分ほどの自由歩行、朱塗りの本堂は国の重要文化財、源平合戦の展望台を過ぎて一気に駆け下りるように、木などに捕まりながら降りた。下は桜の花吹雪、接待のお饅頭を頂き85番八栗寺も越えた。平賀源内の足跡のある志度寺、長尾寺も廻り、民宿長尾が今日の宿。

4/12(月)晴 いよいよ結願寺の大窪寺に向かう。良い天気気分は上々。前山湖畔にある遍路資料館に立ち寄る。この3月から始めたという「遍路大使」なる証を頂いてしまった。悪い気はしないが本当にいいのかとも思った。車道から外れ、車の無い旧道に入る。



山中の遍路道を行く

更に遍路道に入る時776mの女体山まで自由歩行となる。35分奮闘の末、山頂に立つ。下りは急降下、「瓦礫が有るので気をつけて」との事だったが、良く整備されていた。12:30頃88番札所大窪寺にゴール。“やったあ”参拝と納経を済ませ杖も納めた。下の食堂で昼食を取り、境内に戻り全員で記念写真を撮ってもらった。夕刻まで自由時間、数名で奥の院まで一汗を流す。13日、14日と1番霊山寺まで下り、バスで高野山に、15日お礼参りを済ませ屋頃全日程が終了となった。

青い空 続く山並み 四国路は 遍路が似合う 人情の里

拙い、それも断片的で纏まりの無い文章でしたが、お付き合い有難うございました。(終り)

【編集後記】 今月の「ほゆう」で社本さんの涼やかな『歩いて滝を見に行こう』と、市川さんの『四国お遍路だより』が完結した。ご両人様、投稿ありがとうございました。次号からは原稿探しに苦勞する日々が始まる。会員の雑談的投稿を切にお願いする《- 歩遊人 -》

編集担当 和田 武年

〒270-0121 流山市西初石 6-187-43

Tel・Fax 04-7154-0170 Eメール takejii@isis.ocn.ne.jp 常時